

平成30年度 学力向上プラン

深谷市立深谷小学校

R
分析

全国学力・学習状況調査より（6年生実施）

- ・国語では、主語と述語のつながりなど文章の構成、筋道を立てて話したり書いたりする問題に課題がある。
- ・長い文章や難しい言葉が使われている文章を読むことに課題がある。
- ・資料から必要な情報を読み取り、根拠をもって問題を解くこと説明することに課題がある。
- ・2～3年の『数と計算』、『算数的活動』、『数量関係』の領域の既習を想起して解く問題に課題がある。

埼玉県学力・学習状況調査より（4・5・6年生実施）

- ・4年生：人的リソース方略の値が市の平均より0.2ポイント低いため、友達と関わって学習を進めることが必要である。
- ・5年生：作業方略や努力調整方略の値が市の平均より0.2ポイント低く、ノートに自分の考えを書く活動や苦手なことに挑戦する意欲が低い。また、非認知能力のやり抜く力が乏しい。
- ・6年生：学習方略では、昨年より伸びが読み取れるが、人的リソース方略の値が市の平均より0.2ポイント低く、友達と関わって学習を進めることが必要である。

NRTより（4年生実施）

- ・国語においては、目的に応じて構成を考えて書くことに課題があり、最後まで問題をやり遂げて以内児童も見られた。
- ・図形、数量関係の正答率が全国より半分以下であった。

G
ゴール

【平成34年度までの目標】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- 県学力・学習状況調査の平均正答率において、すべて県平均を上回る。
- NRTで偏差値平均において深谷市平均を上回る。
偏差値50を上回り、アンダーアチーバーをゼロにし、自己肯定感が高まった児童を育成。

【来年度に向けての数値目標】

◎来年度に向けて、上位層を8%増やし、下位層を5%減らす。

	国語		算数	
5 学年	上	24% ⇒ 32%	上	22% ⇒ 30%
	下	3% ⇒ 0%	下	8% ⇒ 3%
4 学年	上	23% ⇒ 31%	上	16% ⇒ 24%
	下	6% ⇒ 1%	下	1% ⇒ 0%

※上位層＝正答率75%以上、中位層＝正答率75%未満25%以上、下位層25%未満

P 計画

【次年度に向けての重点計画】

- ・朝の基礎タイムでB問題に対応できる力をつけるため、問題の解き方や文章問題の書き方など、細かくていねいに指導する。
 - ・校内研修等で、グッドプラクティスの分析・検証を行い、全体に周知し取り組む。
 - ・B問題を意識した家庭学習の充実・コバトン問題の活用
 - ・B問題を取り入れた学期末検証テストの実施
 - ・校内相互授業参観（国語・算数の学力向上の取組を参観）
- * 指導者を統一して、向上を図る。

D 実行

